

# にゅとぴあ 岸和田

岸和田市国際親善協会だより

ifa-きしわだ



No. 119

第26回

## KIX泉州国際マラソン 選手歓迎交流会

2019年  
2/15(金)

2月17日(日)の本番を控えた15日(金)浪切ホールにて、岸和田市姉妹都市の招待選手・随員員の歓迎交流会が岸和田市国際親善協会、岸和田市日中友好協会、岸和田市日韓親善協会共催で催されました。アメリカ合衆国 サウスサンフランシスコ市 ユンジュン・キムさん、大韓民国 ソウル特別市永登浦区 キム・ジニさん、キム・ヒョンジュンさん、随員 シン・ウンギョンさん、4名を含め46名の参加者でした。

ビュッフェスタイルの豪華なメニューに舌つづみを打ちグラスを傾けながら、選手歓迎交流会の会場は一気に盛り上がりました。選手たちは各テーブルを回り、出席者との記念写真や激励の言葉を受け、それぞれ出走に挑む固い決意を語ってくれました。「伝統ある KIX 泉州国際マラソンと岸和田市の姉妹都市プログラムに参加することができ、嬉しく楽しみに思っています。」「良い思い出になるように最善をつくします。」「ベストコンディションなので、自己最高記録を出し、来年もぜひ参加できるように頑張ります。」

当日は晴れ10℃と絶好のマラソン日和となり、スタート地点の浜寺公園は 6,000 人以上のランナーで埋まりました。市長をはじめ

岸和田の皆が消防署岸城分署前で大声援を贈り、招待選手の皆さんは次々と元気よく通過して行きました。ゴール間近の橋はランナーたちにとって厳しいものがありますが、走りながら田



▲写真左から ユンジュン・キムさん  
キム・ジニさん  
キム・ヒョンジュンさん

尻スカイブリッジからの景色も楽しんだとのこと、そして無事ゴールしました。全員完走という立派な結果となったことを心からうれしく思います。

3選手には今後とも岸和田市姉妹都市の交流ランナーとしてご活躍されることを切望いたします。(関連記事5頁) (広報部会)



無料配布中

岸和田市国際親善協会が作成した防災ハンドブック。無料で協会事務局にて配布しています。ご希望の方は協会事務局  
TEL. 072-457-9694  
までお問い合わせ下さい。

「にゅとぴあ岸和田」は世界の人びと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切に親善・交流を通してお互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。



Since 1989

ifa-きしわだ  
岸和田市国際親善協会



国際交流の中で不可欠なのは外国語です。しかし、日本語は他の外国語と比べて、文字も文法も全く違う言語です。これが私たち日本人にとって外国語を学ぶ上で大きなハンディキャップとなっています。また古来から海に囲まれ外国文化に接する機会が少なかったことから、無意識のうちに外国語にコンプレックスを持つようになり、苦手意識を持つのは当然です。

このような背景のなかで、皆さんはどのようにして外国語に接し学習しているのか、苦勞話や感じていることを自由に投稿していただけます。

*Let's learn foreign language.*

## 《何歳からでも外国語を知る喜び》

今や人生百年時代、様々な趣味を楽しむ中高年がますます増えてきています。私は現在マドカホールで、英会話クラブに所属し楽しく学ばせて頂いています。先ずはなぜ数多い活動の中から英会話クラブを選んだのかをお話します。

私と記憶に残る英会話との出会いは、今から30年以上も前の海外旅行、ロサンゼルスで起こりました。チョコレートを買おうと一人である百貨店に入った時でした。私は何を思ったのか、大きな身体の黒人の店員さんにチョコレートの味を尋ねました。今思い返すと、全く話せない私が何と言ったのか不思議ですが、その店員さんは I like lemon、レモンのように少し酸っぱくて苦みもあるよと説明してくれたのだと思います。しかし当時の私にとっては、ちんぷんかんぷんで、そのたった二つの言葉すら聞き取ることが出来ませんでした。スマホも何もない時代、困った店員さんは、紙にレモンの絵を描いて熱心に説明してくれました。私は満足して買い物をし会話が出来たと思込んでしまったのです。この楽しかった思い出が宝となり、なんとか少しでも聞き取り話せるようになりたいと思う今に繋がっています。半世紀以上英



語と縁のなかった私が去年2週間のニュージーランド語学留学を経験することが出来ました。短期間で上達することは有り得ないことですが、とにかく話してみるという度胸だけはついたようです。

クラブ活動は、毎回 B 先生の趣向を凝らした授業で楽しく学ばせて頂いています。メンバーの方々は趣味が海外旅行であったり退職後の大学生活、日本語ボランティアでの活動と本当に精力的です。常に私に新鮮な刺激を与えて下さる大切な存在です。英会話を学ぶことによって狭かった私の世界が少し広がったようで嬉しく感謝しています。そして何歳からでも知る喜びを知ったことが私の新しい宝となりました。(藤井 多恵子)

## 《世界と繋がる》

最近、東京オリンピックと大阪万博にワクワクしています。どちらも生涯に2度も日本で開催されるとは思いもよらなかったからです。小学校2年生時、世界中から訪れたトップアスリートの躍動感溢れるプレー・華麗な演技に目が釘付けになり、初めて世界の人々を意識しました。次のよりリアルな世界との接点は、中学校2年時の大阪万博です。開幕間もない頃にボイスカウトとしてお祭り広場に出演し、また、多くの国のパビリオンを巡り習いたての拙い英語で交流できたことで世界への目が開かれました。高校時代は、音楽や映画をはじめとする欧米文化にのめり込み、外国で暮らしたいという思いが募ってきました。大学入学後は資金調達のためアルバイトを掛け持ちし、4年目を休学して1年弱アメリカで過ごした経験により人生観が大きく変わりました。その後、中学校の英語科教員となりましたが、その経験が役立ちましたし、人生を楽しめるようにもなりました。

定年退職後、将来世界へ羽ばたいていったり、世界から訪れる人々と交流したりできる日本人を育成するために微力ながら、岸和田市教育委員会にて英語教育の指導員を務めています。私は、「英語を学ぶ」のではなく「英語を使って何ができるようになるか」が重要だと考えています。また、日本人は“Think globally, act locally.”という考え方を大切にしなければならないとも強く考えています。そして“peaceful coexistence”を胸に世界の人々と共に歩んでいきましょう。昨年、東京オリンピックのボランティアに応募してみました。元気であれば、大阪万博でもお役に立ちたいと思っています。拙文を大好きなジョン・レノンの「イメージ」の一節で締めくくります。

“Imagine all the people living life in peace. You may say I'm a dreamer but I'm not the only one, I hope someday you'll join us and the world will be as one.” (岡本 正之)

## 「英語に関する調査」

- 男女及び年齢別でもほぼ同じで、約7割が「英語が苦手」と感じている
- 「英語が得意」と感じている人はTOEIC700点以上
- 英語の学習が重要と考える理由は「視野を広げるため」「外国人とコミュニケーションをとるため」「海外旅行の予定があるから」
- 英語以外に学びたい言語：男性は中国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語。女性は中国語、韓国語、フランス語、スペイン語

- 英語の学習が「嫌い」な人の割合は43.9%、「好き」な人は21.3%。「好き」な人の勉強方法は「教材 / ラジオ・テレビ講座で勉強する」51.2%、その他「英会話学校」「英文書籍・新聞」「映画やオンライン動画」「外国人の友達」

典拠：Rakuten insight 2016 8月  
インターネット調査結果



## 《外国語はあきらめないで興味を持ちつづけること》

「EXPO' 70」大阪万博。この万博会場のお祭り広場が、学校を出たばかりの私の職場でした。喧騒の中にも心がウキウキする毎日でした。はじめて外国人を世界を身近に感じたものでした。お祭り広場での案内係の私は外国人には簡単な英語で案内するのです。難しい質問には横にいる同僚が流暢な英語で説明しているのを見て、自分の拙い英語力に気後れる毎日でした。

後に南米や英語圏で暮しても物怖じしないものの語学はさっぱりでした。まずは料理のテレビ番組を観たり、スーパーの食品・日用品の説明書きを読み、家計簿は、その国の言語でつけ、タクシーに乗ると運転手さんと喋ったり、クリーニング、花屋、肉屋、魚屋等で質問したりしましたが、だからといって上達するものではなかったのです。40数年前は、辞書だけが頼りでした。

英語で苦労している私は、ポルトガル語、スペイン語に出会った時は、やる気がわきました。一からのスター

トなのです。ポルトガル語はほとんど忘れましたが、スペイン語は大宮青少年会館（現大宮地区公民館）で習い続けています。宿題がない、指名されない、時事問題や耳寄りな情報を交えての和やかな雰囲気の中で学んでいます。英語は発音が難しいですが、その点スペイン語は、巻き舌の発音が難しいのですが、基本的には日本語と同じです。

日本語サロンで感じることは、日本語能力試験合格者の上級・中級の生徒さんでも、喋る、聴く、書く、読解できるようになるには、至難の技のように私には思えます。

外国語はあきらめないで興味を持ち続けることが大切です。自分のペースで。今は、外国語を学ぶ方法がいくらでもあります。私が異国を体験した時とはちがいます。私は行ける内には是非、ポルトガル、スペインを旅したいと思っています。（堺 徳子）

## 《英語学習から日本語指導へ》

リタイア後は、余暇に英語を再勉強したいと思っていました。英語ニュースがわかるようになりたい、というのが若いときからのひとつの夢でした。ふとしたきっかけで、フィリピンのセブにある語学学校に3度に分け通算で約3か月通いました。渡航費を加えても日本の英語教室に比べ安い費用でマンツーマンレッスンが受けられます。短期の留学でしたが、相手の質問に緊張することが少なくなり、簡単な会話ができるようになりました。

帰国後はスカイプでのレッスンをセブの先生から受けました。先生方は日本語習得に強い関心を持っています。現地の日本語学校は授業料が高く多くの人達は通えません。それなら私ごと、我流で教えたところ、思った以上に早く上達します。しかし、スカイプによる対話では隔靴搔痒の感があります。いつか、現地で直接教えたいと思うようになり、思い切って一步を踏み出したのが3年くらい前です。

そんなころ、当協会の日本語ボランティア養成講座を知りました。受講したところ「日本語教育」という分野があることを知りました。日本語教授方法の基本を学び、この歳になって新しい世界が広がってきました。恥ずかしながら形容詞に二つのタイプがある、ということすら知り



ませんでした。今はこの講座の教材を基に、日本語指導のお手伝いをしています。試行錯誤の状態ですので、効率的には進みませんが、少しずつ指導の形ができてきました。

今のところ、1か月の短期講座を年に2回開いています。開講前にはホテルの手配や講座の計画を受講者たちと英語で行います。また、ホテルでのトラブル対応も必要です。語学力の不足で思うように進まないこともあります。まだ、英語ニュースが理解できるレベルには達しませんが、リタイア時より改善したように感じます。このボランティア活動は費用対効果を考えるとセブの語学学校での学習より勝る上達法だと思います。（井上 正己）

## 日本語サロン便り 東岸和田日本語サロン編



当サロンの活動内容等を紹介し、ボランティアの皆様のご協力をお願いいたします。

- ①所在地：JR 東岸和田駅山手、向かいの市民センター 4階（駐車場有、料金は協会補助）
- ②構成内容：ボランティア 17名  
（内男性 4名はお年寄り 女性 13名は美人揃い）  
サロン生は 17名 男性 4名、女性 13名  
中国、台湾、ベトナム、フィリピン、ネパール、スリランカ、タイ、アメリカ、コンゴ、チェコ、アフガニスタン
- ③集会内容  
我がサロンはお互い無理をしないで楽しみながら遊びながらの自然習得を旨とし、マンツーマンを原則としながらも、時にはお互いの長所欠点を生かし補い汗を流すだけで、日本語や日本文化習慣、行政機関、医療機関対応等、ボランティアの個性でサロン生と楽



しんでいます。先輩のアイデアは頂きますが、こうしろ!! と命令する怖い人はいません。

- ④今後の課題  
先ず我々の意に添わずとも、サロン生が自由に楽しく参加出来る集会場になる事。当サロン内での 1年に1回位の意見交換。我がサロン卒業生が世界の中で貢献活躍が出来る事を期待したいと思います。
- ⑤今後への希望  
今後益々、他国からの友人が増える中、更なるボランティアの方々がサロンに参加し、（特に 1:30～3:00 昼間開催の当サロンへの参加歓迎）誰かが喜んでくれれば、幸になってくれればとの簡単な精神で出会いを楽しみにしています。（東岸和田日本語サロン）

## AJT 活動（市内小中学校での貴重な体験）

～岸和田市 AJT 制度への協力～

近年、国際化グローバル化の進展により帰国渡日の児童生徒が増加している。岸和田市として例外でない。そこで当協会からの要望により、岸和田市教育委員会では昨年度より「日本語指導補助員実施要領」を制定し、日本語に大きなハンディのある彼らが楽しく安心して学校で学習出来るように日本語補助員制度を発足させた。現在、当協会会員 3名が原則として週に 1回、市内 2校に出向き取り出し方式のマンツーマンで支援に当たっている。

A小学校では工夫を凝らした教材に基づき低学年複数名を担当している。彼らは普通のクラス学習とは異なる環境での学習に当初は戸惑い気味でした。又、正に遊び盛りでもあり教室に入ってから直ちに勉強開始とはならない。先ず彼らを如何にして席に着かせるか如何にして勉強するという雰囲気を持ち込めるか等から始まる。そこで学習意欲を誘発する為に冒頭に「しり取り」やカルタを行う事もあるが、最近では軌道に乗りつつある。



B中学校では 1年生 3名を対象とし「みんなの日本語」を教科書とする。彼らは多感な思春期にあり多くの面でストレスを感じることも多いのか、時として情緒不安定な面も見受けられるがサバイバル言語、生活言語には全く問題はなく友達との交流や衝突もありコミュニケーション言語は相当なレベルにある。我々が接している児童生徒は純真真面目で友好的でもあり日本文化に関心を示すこともあるのはうれしい限りです。

彼らは社会的文化的、更には家庭的経済的な背景も異なり来日時の年齢、家庭内言語や来日前の生活等一人一人事情が異なる。学ぶための学習言語を習得するには言語の基礎が必要で、それ無くして多面的な学力は伸びず、本人の将来の選択肢も狭まり社会にとっても損出です。我々は孫に接するかのよう愛情を持って彼らの健やかな成長を念じつつ各人の状況に応じたきめ細やかな対応に心掛けている。

（東田 和代、野口 礼子、奥野 藤樹）

### AJT って何のこと?

#### Assistant Japanese Teacher

日本語がわからない外国から来た子どもたちに、日本語のサポート、日本語教育をおこないます。日本語サロンの子ども版です。

※ALT（外国語指導助手）の造語。

## KIX 泉州国際マラソン招待選手 ホームステイ受入

ユンジュン・キム選手 (サウス サンフランシスコ)

2月17日夕、泉州国際マラソン招待選手のユンジュン・キムさんをホームステイゲストとして迎えました。私達家族は以前サンフランシスコに住んだことがあり、当地在住のキムさんとは初対面とは思えないほど話が弾みました。

翌日は、来日前に友人に勧められたという「一蘭」のラーメンを是非食べたいという彼の希望で、大阪に出かけました。昼食時だったこともあり、既に海外からの観光客の長蛇の列。待つこと約30分。念願のラーメンを食べることができ、とても満足したとのこと。その後、道具屋筋、黒門市場、法善寺、道頓堀等ディープな大阪



を探索。活気に満ち溢れる人々や街並みにエネルギーを貰ったとのことでした。その晩はキムさんの好物のお寿司でおもてなし。ビールを飲みながら日本滞在での感想を語ってくれました。日本人の親切心、文化を大切にしている心等。特に、ごみがない道路、ホームレスを見かけないことなどは彼のサウス サンフランシスコ市公共事業部長とい



City of  
South San Francisco  
California



う仕事柄、特に目に付いたのかもしれませんが。

最終日の19日はシャケ、卵焼き、海苔、納豆、味噌汁の定番の朝食を済ませ、我が家で簡単な茶道体験をしました。呑み込みも早く、日本文化を大いに堪能したようです。その後、水間寺、慈眼院、日根神社等を訪れました。昼食後、荷造りが終わるともう出発の時間。短いホームステイでしたが、何年も互いに友人であるかのように感じさせる3日間でした。キムさんを関空で見送り、グッドフライトを願いながら帰路につきました。

(大工ファミリー)

## 泉州国際マラソンに出場して

岸和田市姉妹都市

サウス サンフランシスコ市公共事業部長

ユンジュン・キムさん

I was fortunate to be a part of the sister city runner exchange program. I visited Kishiwada from February 14 to February 19. It was truly a wonderful and insightful experience to learn about the culture and establish relationships with my colleagues in Kishiwada. The staff of Kishiwada City Cultural & International Affairs division were amazing, gracious, and kind. This was an experience of a lifetime. The marathon was well organized. There were many water and sports drink stations and the public was cheering all the runners to keep their spirits up. I had the opportunity to visit the Buddhist temple and Shinto shrine and enjoy the Japanese cuisine. The community and culture are awesome!



Eunejune Kim, Director of Public Works, City Engineer City of South San Francisco, Department of Public Works.

〈日本語訳〉

私が姉妹都市ランナー交流プログラムの一員になれたことは幸運でした。私は2月14日から2月19日まで岸和田を訪問しました。岸和田で文化を学び、私の仲間たちと関係を築いたことは、本当にすばらしく見識に値する経験でした。岸和田市文



永野岸和田市長を表敬訪問▲

化国際課のスタッフは、感嘆するほど礼儀正しく親切でした。これは生涯の(忘れることのない)経験でした。マラソンはよく計画されていました。たくさんの水やスポーツドリンクの供給所があり、一般の人たちはすべてのランナーを応援し元気づけていました。私は仏教寺院と神道神社を訪問したり、日本料理を満喫する機会を持ちました。コミュニティと文化は凄い!

12/15 Jesse de Carteret さん  
(土) (オーストラリア)



初めて EOC に参加して、皆さんの熱心さに感心しました。ゲストの Jesse de Carteret さんはオーストラリアのメルボルン出身で、16 歳の時に愛知県大府にある高校に交換留学生として初めて来日しました。世界 6 位の面積をもつ広大なオーストラリアですが、その約 6 ~ 7 割は砂漠と乾燥地帯です。日本の約 20 倍の国土に約 1/5 の人口、そこに暮らしている人々のお話を楽しく聞かせてくれました。食生活では、食卓に肉+3種類の野菜が一般的とのこと。他にも習慣、歴史、住居などについても興味深く説明してくれました。日本との違いでは、時間の感覚や管理の細部までの厳格さなどについて話されました。大らかな心を持たねばなあ、と気付かされました。

オーストラリアの方々が開発したものに、Wi-Fi、プラスチック紙幣、人口内耳、飛行機のブラックボックス等があることも紹介してくれました。1770 年にジェイムスクックがニューサウスウェルズ州のボタニー湾に上陸して 250 年、1828 年には全土がイギリスの植民地に、1901 年には独立、まだ新しい国です。先住民であるアボリジニに対する迫害の歴史も話してくれました。Jesse さんの話し方は穏やかで、私たちが聞き取れるように配慮された素晴らしいプレゼンでした。ご講演を有難うございました。Jesse さんのご多幸をお祈り申し上げます。(古澤 弘生)

1/19 Konstance Li さん  
(土) (香港)



イングリッシュ オープン カフェでプレゼンターが、自分が行ったことのある国からのゲストである時、自分の旅の経験を思い出しながら聞いたり質問したりするのは楽しいです。前半のトークが終わりティータイムになった時、今日のお話のテーマは一口で言って何だと思えますかと聞いてみました。香港から来られた本日のプレゼンター、コンスタンス・リーさんは「自分は外交官ではないので、国の宣伝にはこだわらず、ぶっちゃけトークで話します」と言いきなり大スター、ジャッキー・チェンのダークサイドからの評価から始めたからです。リー氏は国際センターで6か月のスカラー・コースで日本語を学ぶ、香港大学、オクスフォード大学院を出た東洋美術史の学者さんなのです。ハンサムです。

氏の話は奔放で、殆ど写真や資料を交えず、香港のレストランのウェイターがぶっきら棒な理由から、香港の病院での体験、1997年以降、返還後の中国との関わり、オクスフォードのこと、北京と上海の違い、スカラーシップの事情など実演入りで話してくれました。現在、日本の鎌倉・室町時代の美術史を研究していて、京都で雪舟などの展覧会があると香港に居ても飛行機でやってくる、正倉院の宝物の展示にも出かけたと言うと、EOC 担当の方が私は一度も行ったことがないと告白しました。私も行ったことがありません。(金児 尚)

2/16 Nana Ama Owsuaa Afriyie Kankam さん  
(土) (ガーナ)



今回のゲストはガーナ大使館から7か月間研修で来日しておられる、Nana さんでした。

まずは国旗の説明からで、\*赤色は独立の為に流された血を \*黄色は金、ダイヤモンド、石油などの豊富な資源を \*緑色は豊かな自然を\*真ん中の黒い星は独立の希望と栄養を\*それぞれ表わしているそうです。ガーナに関してはチョコレートの原料カカオ豆の産地であるということ事と、黄熱病の研究者、野口英世がこの地で亡くなったという知識しかなかった私にとって Nana さんの映像付きのプレゼンは自分の抱いていたイメージを払拭し新しいアフリカに触れられる貴重な経験となりました。首都アクラ周辺には近代化された産業施設が多くあり、インフラ整備も整っていて、教育制度

は日本と同じ6・3・3・4制で中学卒業までは無料だということもおどろきでした。そして面白かったのは主食の一つである\*FuFu and Soup\*の説明で、フフは芋などを砕いて蒸したもので、スープは沢山の豆類、野菜、肉などの具材を煮たもので日本のスープは薄くて水を飲んでいるみたいだと笑っておられました。又プランテン(料理用バナナ)は食材で、私たちが想像するバナナとは異なるそうです。最後にガーナはとても安全で豊かで美しい国であり、是非一度訪れて野生動物にも触れて欲しいとのことでした。有意義な時間を共有できたことに感謝致します。(網代 享子)

## 関西国際センター 専門日本語研修・ホームビジット

12/17  
(月)

### ガイアナってどこ？

りんくうにある国際センターで世界の若手外交官が日本語の研修を行っています。研修の一つに日本の家庭を訪問する「ホームビジット」のプログラムがあります。先日わが家に2名の外交官が訪問してくれました。プロフィールが送られてきた時に出た言葉が「ガイアナってどこ？」です。もう1名はアフリカのタンザニア出身。タンザニアはマラソン選手や映画「ボヘミアンラブソディ」のクィーンフレディマーキュリーの出身地で、なんとなく親近感がありますが、ガイアナはどこにあるのか地図さえ頭の中に出てきませんでした。

調べると南アメリカの東海岸に位置する小さな国です。ガイアナの紹介文も少なく、日本で知られている有名人も特にいません。どんな人が来るのか何を話そうか、期待と不安が高まります。

そして、ホームビジット当日、岸和田城などを案内した後、我が家で夕食。日本に来て、まだ3か月程度なのに、日本語もよく理解し、箸の使い方も上手なのに驚くと



もに、町を歩いている時も、看板のひらがなやかタカナ、簡単な漢字を一生懸命読んで発音し、私に意味を聞いて確認していたことを思い出し、日本のことを知ろうと一生懸命勉強していることを実感し、逆に私たちももっと異国のことを知る姿勢が必要と教えられました。彼らが今後外交官として世界で活躍することを祈っています。

(内田 満弥)

## 地球どんぶり 防災体験&お花見 ツアー



3/24  
(日)

今回の防災ツアーは、ベトナム、インドネシア、中国、インドの外国人23名と日本人スタッフ7名の総勢30名が参加しました。幼稚園児と小学生も参加した賑やかなツアーになりました。今年初めてお花見と組み合わせたことで、予定を大幅に上回る参加人数に嬉しい悲鳴です。

南海とJRを乗り継いで天王寺まで行き、まず阿倍野防災センターへ向かいました。防災センターは現在大規模改修中のため、見学・体験できる施設は限られていますが、映像による地震体験、消火器を使った初期消火体験、電話で火事や事件を消防署に知らせる通報体験、VR（バーチャルリアリティ）を活用した火災からの避難疑似体験など、約1時間の盛りだくさんで有意義な体験を参加者みんな楽しみました。特にVRはまるで本物の



▲阿倍野防災センターでの消火体験の様子



た。また電話での通報体験では、つまりながらも一生懸命取り組んでいました。私たち日本人スタッフもほとんどが公衆電話での通報は初体験で、外国人以上に興奮しました。次回は新しくなったセンター「防災タスカル」へまた一緒に行きましょう。

防災体験のあとはいよいよお花見です。天王寺公園「てんしば」へ移動して、お昼ご飯を食べました。数日前の暖かさはどこへやら、正に寒の戻りで寒さに震えました。食事のあと「慶沢園」で再集合。九州や関東地方には桜の開花宣言が出ていますが、大阪はまだもう少し先のようにです。かるうじて一つ二つ花を咲かせている桜の木はたった一本だけでしたが、美しい日本庭園にハルカス、茶臼山の朱塗りの橋をバックにみんなたくさん写真を撮りました。参加者全員からとても楽しく充実したツアーだったと好評をいただきました。協会からは交通費の補助もいただき、ありがとうございました。(事業部会)

# 岸和田に暮らして...

かつては外国の街、岸和田も、住めば都となり今は自分が暮らす我が街岸和田。そんな国際色豊かな ifa-きしわだの心強いサポーターでもある皆さんに、自分史や岸和田での暮らしについてお話いただいています。



KISHIWADA  
第28回



第28回は  
ベロニカ ゴンサレスさん (アメリカ)  
フェン ヤマナカさん (中国)



ベロニカさんはメキシコ系アメリカ人でシアトル出身、フェンさんは日系中国人で大連出身です。お2人の出会いは大阪で、観光関係の仕事をしていたフェンさんが、友だちと一緒に観光で来日していたベロニカをあちらこちら案内してあげたのがきっかけです。そして1年後晴れて結婚することになり、フェンさんの仕事場が岸和田市内ということもあって、岸和田に住むようになりました。そして第1子女の子にも「春嘉」ちゃんと日本名を付けました。



フェンさんは九州大学に留学して日本歴史を専攻したという頭脳明晰な方です。日本語は非常に堪能です。座右の銘は福沢諭吉が「学問

のすすめ」で書いた有名な一節「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」です。生来、人間はすべて平等であり、貧富・家柄・職業・社会的身分によって差別されるべきではないという言葉に魅せられ、LINEトークの自己PRにも使用しています。

ベロニカさんは子育てに追われ忙しい日々を過ごしています。フェンさんが休日の日には赤ちゃん用品専門店やスーパーマーケットへ食品を買いにドライブに出かけ



るのを非常に楽しみにしています。近々シアトルと大連から双方の両親が初孫に会いに岸和田へやって来るそうで、その受入準備におおわらわですが、大変うれしそうです。

おふたりのコミュニケーションは、英語、日本語、中国語、スペイン語というマルチ言語ですが、生活するためには、やはり日本語が大切です。できるだけ日本語で話すよう努めています。ベロニカさんは友人も通っている和泉市にある日本語サロンで、春嘉ちゃんを連れて週2回通っていますが、漢字はなかなか覚えられません。

岸和田での生活は快適です。日差しが強くない時は、できるだけ春嘉ちゃんを乳母車に乗せて散歩するようにしています。岸和田人はとてもフレンドリーで気軽に話され、何でも親切に教えてくれます。ただ諸々の行政手続きに四苦八苦していますが、ハンコを押すのが好きです。

(塩屋 裕)



▲大連 星海広場



▲ケリー公園からシアトル夜景

## Information

### ■2019年度総会

【と き】 2019年4月27日(土) 13:30~16:00

【場 所】 浪切ホール 4F 交流ホール

II部 琴伝流大師範 橋野澄子門下生 『大正琴演奏会』

♪懐かしい曲からポップ♪までお楽しみいただきます

\*詳しくはチラシをご覧ください

### ■Mixed Roots

外国にルーツを持つ子どもの生活支援や学習サポートを行います。ボランティア及び該当者を募集します。

【と き】 第2・4土曜日 13:30~15:30

【と ころ】 マドカホール 3F 視聴覚室

### ■英語クラブ、KIMONO クラブ生随時募集

自分の意見が言えるのを目的にした「カンガルークラブ」

第1・3水曜日 10:00~12:00

初級英語クラブ 第1・3土曜日 10:00~12:00

中級英語クラブ「あすなる」第2・4土曜日 10:00~12:00

KIMONO クラブ 第2・4土曜日 13:30~15:30

\*クラブ費は、何れも月1,000円、無料体験の上受講ください

### ■異文化理解講座

【と き】 2019年5月12日(日) 13:00~15:30

【と ころ】 マドカホール 3F 視聴覚室

【講師・講題】

小笠原 理恵 大阪大学大学院人間科学研究科 助教

ユネスコチャータ設立準備委員会事務局

~日本の常識、世界の非常識!??~

「多文化社会における医療を考えよう」

【申 込】 5月7日(土)より先着順に30名まで事務局にて受付。詳しくはチラシをご覧ください。

### ■English Open Café

各国のゲストを招き映像を使いプレゼンいただき交流します。進行は全て英語で行います。

【と き】 9月以外の第3土曜日 13:30~15:30

【と ころ】 マドカホール 3F 視聴覚室

\*申込なしでどなたでも参加いただけます。

にゅとぴあ岸和田 No.119 編集担当

内田満弥・大塚 洋・塩屋 裕・西村紀子・三森すみ代

お問い合わせや感想などは事務局まで TEL&FAX (072)457-9694